



大腸内視鏡検査で 使用するお薬について

宮崎江南病院 薬剤部

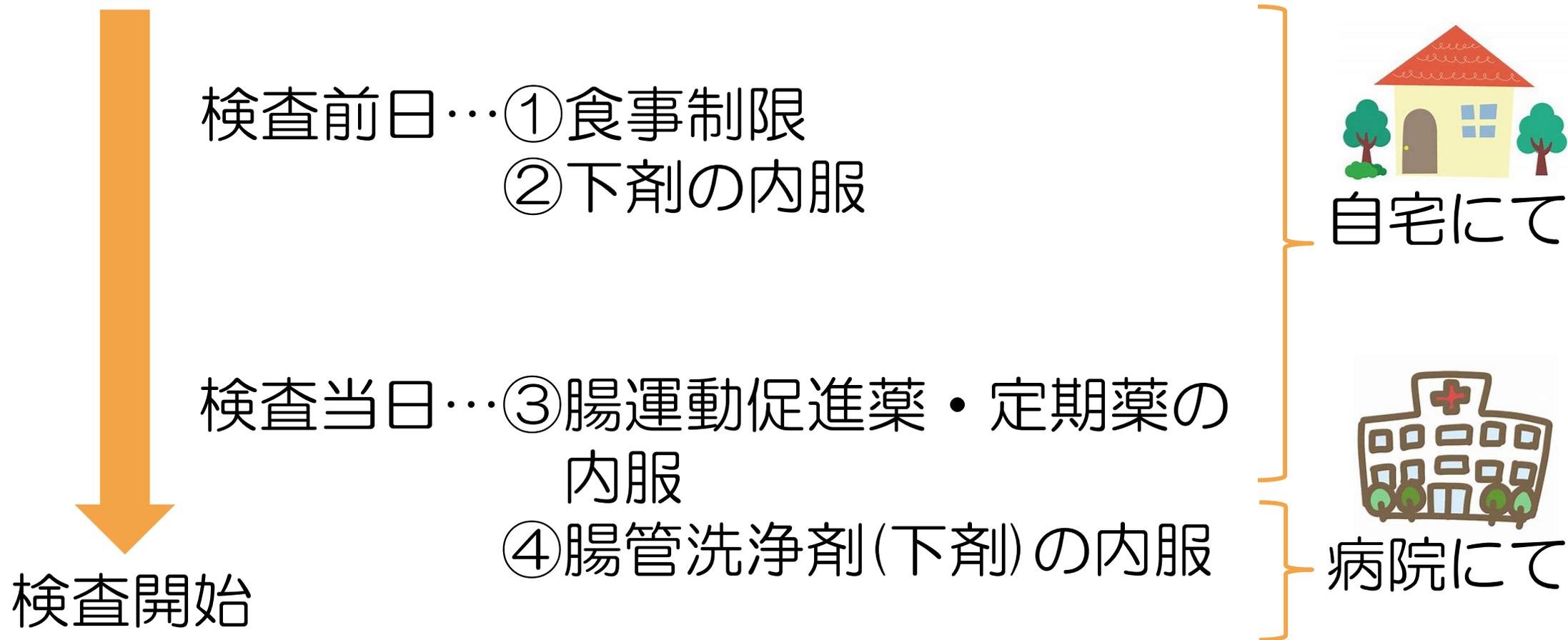
～大腸内視鏡検査の前処置～

「前処置」とは、検査をより良い状態で行うために行う処置のことをいいます。

ここでいう「前処置」とは
便をだしてお腹の中(大腸)をきれいにする
ことをいいます。



前処置は、検査の前日(もしくは前々日)から始まります。



① 食事制限

検査の2日ぐらい前または前日から消化の良いものを食事にとりいれると、よいでしょう。

特に普段から便秘気味の方は、早めに対策しておくのと、早くお腹の中がきれいになって検査がスムーズに行えるようです。検査食(クリアスルー)を活用するのも1つの方法です。

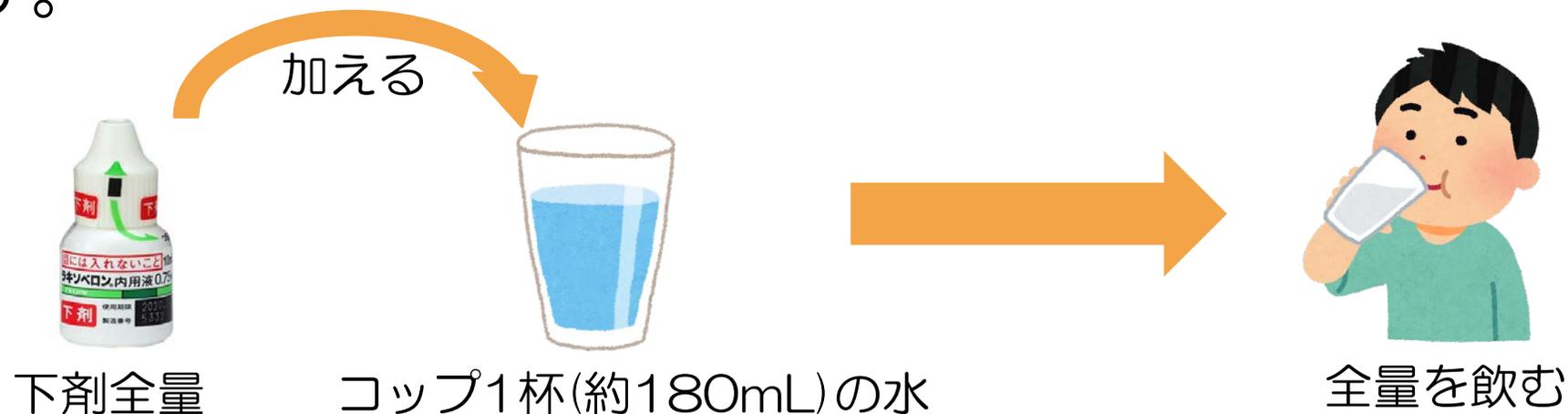


マヨネーズで有名な会社が製造しているものです！
当院では、売店にて販売しています。

②下剤の内服

検査前日の寝る前にラキソベロン内用液(下剤)を服用します。

服用してから8～12時間くらいで効果がでるお薬ですが、個人差があります。
お薬自体は甘く、比較的飲みやすいお薬になります。



③腸運動促進薬・定期薬の内服

検査当日の起床後にモサプリド(腸運動促進薬)を服用します。
お腹の動きを活発にさせて、さらにガスや便を出しやすくします。

さらに、来院までに水かお茶を500mL(コップ3杯)程度飲みましょう。

定期的に朝食後に服用するお薬もこのとき一緒に服用しても構いません。

(ただし、医師の指示に従うこと)

食事をしてはいけないため、
糖尿病薬の服用はしない



④腸管洗淨剤(下剤)の内服

来院後、モビプレップ配合内用剤(腸管洗淨剤)を服用します。
梅味でさっぱりしており、比較的飲みやすいです。
また脱水を防ぐため、水分も摂る必要があります。



飲んでもよい水分	飲んではいけない水分
水(ミネラルウォーターも可) お茶(煎茶、番茶、ウーロン茶、麦茶) 紅茶(砂糖・ミルクは不可)	スポーツ飲料水 乳性飲料(牛乳、飲むヨーグルト) ジュース類 アルコール類 砂糖・固形物が入っている飲料水

モビプレップ1Lを1時間かけて服用する
※目安としてコップ1杯(約180mL)あたり10~15分
※途中で喉が渴いたら、いつでも水やお茶を飲む!



水またはお茶をコップ3杯程度(約500mL)ゆっくりと飲む

便がほぼ透明な水様便

になった

ではない

服用終了!

モビプレップの半分
の水やお茶を飲む

便が透明になるまで
モビプレップを1杯ずつ服用する

～検査時に使用するお薬～

検査開始時、

- ①鎮痙剤(腸の動きを抑える)
 - ②鎮静剤・鎮痛剤※(眠気を誘発して痛みを和らげる)
- を用います。

※鎮静剤・鎮痛剤は希望者のみ

鎮静剤・鎮痛剤を用いた場合は、
当日の車の運転を控えてもらいます。



①鎮痙剤

検査時に、腸の動きが強いと観察や処置を行いにくいため、鎮痙剤を注射します。

なかには、このお薬を使用できない方もいますが、注射しなくても検査を行うことは可能です。

鎮痙剤：ブスコパン注

上記薬を使用できない方

- ▶ 心疾患、緑内障、前立腺肥大症、麻痺性イレウス、本薬剤に過敏症がある、出血性大腸炎



②鎮静剤・鎮痛剤

内視鏡挿入時の痛み、検査に対する不安やストレスをやわらげるために使用します。
使用する薬剤や量は医師の判断のもと決まります。

鎮静剤：サイレース静注
鎮痛剤：ペチジン塩酸塩注



薬剤名	使用できない方
サイレース静注	緑内障、重症筋無力症、本薬剤に過敏症がある
ペチジン塩酸塩注	パーキンソン病治療薬 ¹⁾ を服用中である、抗結核薬 ²⁾ を服用中である、本薬剤に過敏症がある

1) セレギリン(エフピー®)、ラサギリン(アジレクト®)、サフィナミド(エクフィナ®)

2) イソニアジド(イスコチン®)

